



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和元年6月14日(金) 第9号

教育目標
 ☆すすんで学ぶ子ども
 ☆思いやりのある子ども
 ☆ねばり強い子ども
 ☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



川俣町独自の集団体験学習プラン



先週は2年生単独で、今週は4年生が他校と合同で宿泊体験学習を行いました。「ダーツの旅」で全国放送された「おじまふるさと交流館」の方々にお世話になり行っているこの学習プランは、川俣



町独自の「集団体験学習プラン」で、他にも本交流館において、5年生と6年生が他校との外国語の学習交流等を行う予定があります。

2年生は地域の森の案内人の方の指導のもと、交流館周辺の自然観察や木工クラフトを行ったり、小島地区の方々の協力の得て「案山子づくり」を体験したりと充実の宿泊体験学習ができました。講師の方々のご協力に感謝します。

4年生はレクリエーションなどで緊張をときながら交流を深め、外国語活動の合同学習や福島警察署川俣分庁舎見学などを行いました。

保護者の皆様には、いろいろな準備をはじめお子さんへの励ましやご配慮等大変お世話になりました。ありがとうございました。



この夏、プールが教えてくれること!



ライバルは昨日までの自分自身。敵は苦しいときに逃げたくなる自分の気持ち! ?・・・etc. いろいろなことに気づかせてくれるプールです。昨日は、特設水泳部が泳ぎ初めを行いました。

以前勤めた全校生20名程の山の中の学校、地区の水泳大会出場のため放課後に黙々と練習します。誰一人として手を抜きません。全員が



魚にでもなったかのように黙々と・・・泳ぐ音だけが聞こえます。休憩の時に、子どもに聞きました。「練習はつらくないかい?」・・・すると「面白いです。ずっと泳げるようになって。」と答えました。「面白いから一生懸命やるのではない、一生懸命やるから面白くなる」をその子から教えられました。3年以上は全員100mを泳げる学校でした。他校が6年でリレー選手を組むのに対し、6年だけではリレーが組めないその学校。しかし優勝の最終泳者は「面白いです。」と言ったその子でした。

各学年ブロックごとに、プール開きも行われます。安全・健康面に留意し、水に親しむ気持ちよさや楽しさを基盤に、大いに鍛え、泳力・体力とともに、心も成長させたいと思います。



「川俣ロードレース大会」について

子どもたちはこれまで、川俣ロードレース大会に向け、朝の時間、業間運動、体育の時間などで持久走に取り組んできました。ところが大会当日の16日の天気は思わしくないようです。大会事務局はよほどでないかぎり雨天決行のようですが、お子さんによっては、雨に濡れて風邪の引きやすい子、当日体調がすぐれない子等もいれば、雨でも参加した

いお子さん、ご家庭もあることと考えます。6/12に配付した「川俣ロードレース大会についてのお知らせ」のように、雨等で濡れた場合、役場3階大会議室を借りておりますので、レース後に濡れた体をバスタオルで拭いたり、服等を着替えたりすることを考えておりますが、当日の体調や天気の状態により、参加を見送る場合には「不参加確認書」(6/12プリント下の部分)を当日ご提出ください。その場合は、ランチルームで学年から指示のあった学習を行います。午前中さえ天気がもてばいいのですが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。